

<常設展「していみゅーで発見！岡山の魅力！」関連企画>



岡山シティミュージアム 開館 20 周年記念

シリーズ 映像で振り返る 岡山の「昭和 100 年」



令和 7（2025）年は、岡山シティミュージアムが開館 20 年を迎えた記念すべき年であるとともに「戦後 80 年」「昭和 100 年」という大きな節目の年でもあります。そこで、これまでに当館が制作・発掘・収集してきた、地域に根ざした映像作品群から 30 本程度を選び、「ミュージアム講座」として 10 回連続の上映会を開催し、岡山市の「昭和 100 年」を振り返ります。

第 5 回は「“不死鳥” 岡山城 焼失と再建、リニューアル」。戦国武将宇喜多秀家によって築かれた岡山城天守閣。昭和 20（1945）年米軍による空襲で焼け落ちましたが、復活を願う市民の熱意によって再建され、3 年前 巨大地震に備えるため耐震工事が施され、美しくリニューアルされました。岡山市のシンボルとして市民から愛され続けた岡山城の「昭和 100 年」を映像でたどります。

<上映予定の映像作品>

上映会 映像で振り返る岡山の「昭和 100 年」

第 5 回 「“不死鳥” 岡山城 焼失と再建、リニューアル」

開催日：令和 7(2025)年 11 月 16 日(日)

会場：岡山シティミュージアム 4 階講義室

開場：13:30 開演：14:00 終了予定：15:30 の見込み

* 参加無料。定員 先着 70 名。電話でお申し込みください。

受付開始：10 月 28 日(火)10:00～

主催：岡山シティミュージアム

〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1 リットシティビル南棟 4 階・5 階

申し込み・問い合わせ用電話：086-898-3000(10:00～18:00、休館日を除く)

＜岡山城関係のアーカイブ映像の発掘＞

岡山シティミュージアムには、地域の歴史や文化、民俗などをテーマに制作された映像作品を中心に、CD や DVD、ブルーレイディスクなど、約 1,500 枚に上るディスク群からなる映像アーカイブがあります。

この映像アーカイブを「岡山城」をキーワードに検索してみると 61 点が該当しました。岡山城を様々な視点から描いた映像作品群がアーカイブには保存されていたのです。これらの作品群は、戦国時代末期に築かれ、戦いのための様々な仕掛けが施された岡山城、江戸時代、太平の世に藩主や家族の生活の場、政治や外交・行政の拠点となった岡山城、城下町に商業的な繁栄をもたらした岡山城、明治維新後庶民へ公開され、博覧会の会場となり 2 か月で 15 万人が訪れた岡山城など、時代の流れに沿いその役割・性格を変えてきた岡山城を多角的に描いています。今回の上映会ではその中から、昭和の時代に遭遇した空襲という大惨事を乗り越え、現代までその姿を伝える岡山城を専門家の目を通して克明に描いた二つの作品を上映します。

＜上映予定の映像作品＞

■「岡山城 秘められた戦の要塞」



企画・制作 岡山シティミュージアム

完成 平成 28(2016)年 7 月 9 日

再編集 令和 3(2021)年 12 月 12 日

長さ 34 分 7 秒

(内容) 岡山城には戦いに備えた軍事施設、政治と行政の拠点、城主と家族の生活の場という三つの側面がありました。

この作品は、自ら岡山城の発掘調査に携わった元岡山市文化財課長の乗岡実さんが、岡山城本丸を隅から隅まで案内します。オリジナルは長さ 58 分の作品ですが、そのうち城壁、門、櫓(やぐら)、天守閣、鉄砲狭間(はざま)など軍事施設としての岡山城に焦点を絞って再編集しました。ディテールにこだわり、軍事施設として様々な防御のための工夫が凝らされた岡山城を専門家の目で詳しく紹介します。

■「映像記録 岡山城“令和の大改修”」



企画・制作: 岡山シティミュージアム

映像提供: おかやま城下町物語実行委員会

完成: 2022 年 9 月 17 日

長さ: 約 23 分 45 秒

(内容) 岡山城は令和 3(2021)年 6 月から令和 4(2022)年 10 月まで天守閣の耐震補強工事を中心とした大規模なリニューアルを行いました。”令和の大改修”と呼ばれたこの工事を撮りためた記録映像で振り返ります。

何故耐震改修が必要だったのか？どこをどう改修したのか？天守閣の塗り替えで使用した黒い塗料はどのようなものか？令和 3 年 11 月 27 日の現場説明会の映像、天守閣内部や不明門(あかずのもん)の耐震工事を記録した映像、耐震工事の設計者へのインタビュー、現場で指揮を執った技術者の解説、後樂園や月見橋などから工事風景を撮影した四季折々の映像などで構成した作品です。(以上)